

"ERIK SATIE"

EXCENTRIQUE LIVE

Series 2 - vol.1

～新たに発掘された資料が描く等身大のサティ像、あるいはもう一つのサティ論～

「春のシャンソン祭り」

柴野さつき

Piano

尾島由郎

Electronics

演奏曲目 (予定)

3つの歌詞のないメロディより「鳥たち」 / ジュ・トゥ・ヴ / イリュージョン / タンドルモン /
タンドルモン (デモバージョン) / 貧しき者の夢 (マスネ: 子供たち) /
悲しき道化師の小さな音楽 (ヴァルネイ: 水仙の女) / エンパイヤのプリマドンナ / 金の粉 /
ワルツバレエ / ワルツファンタシー 他

2017 03月26日(日)

開場 16:30

開演 17:00～ ※時間帯がイレギュラーです。
ご注意ください!

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円～)

MC 3000円 + 2drinks order

CAFE **BEULMANS**

お問合せ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 卍ロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



サティ演奏家の第一人者であるピアニスト柴野さつきと、一貫してアンビエントミュージックの世界を追求する音楽家・尾島由郎が密かに開く

「ERIC SATIE EXENTRIQUE LIVE」
毎回、エリック・サティの大胆な新解釈を披露し等身大のサティ像に迫るトーク・ライブです。今回は「春のシャンソン祭り」と題して、サティのシャンソンやワルツを取り上げます。

生涯を通じて静謐で内省的な音楽を作り続けたエリック・サティ。その一方、シャンソンやワルツのような時流へ敏感に即すことで大衆の欲望に応えた数多くのポピュラーソングを作っていた事もよく知られています。果たしてそれらは口を糊するために手がけた蓮葉な音楽なのでしょうか・・・

シリーズ2 第1回目となる今回の「ERIC SATIE EXENTRIQUE LIVE」では、件の楽曲群の出自や種根を詳らかにすることで、生業として市井に寄せた音楽を作りながらも、常に上位文化に対して憧憬の念を抱いていたサティの苦悩を紐解きます。



柴野さつき

<http://www.satsukishibano.com/>

エリック・サティをはじめとする近代/現代ピアノ音楽のスペシャリスト。桐朋学園音楽科卒業。東京音楽大学ピアノ科演奏家コースで井口愛子に師事。卒業後に渡仏し、サティの研究家であり詩人でもあるピアニスト、J.J.バルビエに師事。多数のアルバム制作やコンサートを通じ、枠にとらわれない自由な演奏活動を展開している。師バルビエと共に監修をつとめた楽譜集『エリック・サティ: ピアノ曲集』(全4冊、音楽之友社)を始めとして、楽譜『ニュー・スタンダード・ピアノ曲集: サティ ピアノ作品集』(音楽之友社)、ピアノ教則本『サティで始める大人のためのピアノ・レッスン』(リットーミュージック)を発表。最新作は、今まで前奏曲しか演奏されることのなかった未発表の大曲エリック・サティ『星たちの息子・全曲版』日本初のスタジオレコーディング盤をリリース。



尾島由郎

<http://www.yoshioojima.com/>

一貫してアンビエントミュージック/環境音の世界を追求している音楽家。代表作はSpiralのための環境音楽集『Une Collection des Chainons I & II』『HandsSome』(Spiral)、柴野さつきとのコラボレーションアルバム『Caresse』(Spiral)、『belle de nuit』(les disques des chainons)他。スパイラル(ワコールアートセンター)やリビングデザインセンターOZON、東京オペラシティ ガレリアを始めとする集客施設の環境音楽を多数制作し、サウンドデザインやサウンドシステムの開発にも関わる。定村史朗、芳垣安洋、中島ノブユキ、フェビアン・レザ・パネ、大儀見元らとノンジャンルな即興音楽のライブを多数行う。『サウンド&レコーディング・マガジン』『キーボード・マガジン』(リットーミュージック)他への執筆も数多い。